

お母さんぼくを見てる

大阪府 創価学園関西創価小学校 三年 久保 颯翔

お母さんがぼくを見る

お母さんがぼくを見てる

ぼくはお母さんと目を合わせない

お母さんがまだぼくを見てる

お母さんちよつと近づいてきたやばい

ぼくはいすにすわるノートを出す

お母さんちよつとはなれたよかった

お母さんまたこっちを見てる

お母さんぼくを見てる

ぼくは気づかないふりをする

ぼくはちよつといそがしいふりをする

お母さんまたこっちに来た

ぼくはあわててえんぴつを持つ

お母さん少しのぞきこんでまたあっちに行つた

よかったでもまたなにか言われそう

ぼく知ってるよ

早く宿題をやったほうがいいこと知ってるよ

お母さんがぼくに宿題やりなさい

って言いたいこと知ってるよ

だけどねやりたくないの

ぼくつかれてるもう少し遊びたいの

お母さんちらっとこっちを見る

お母さん、こっちに来た

ぼくを見つめる ぼくも見つめる

「おやつ食べる?」

お母さん大好き!!!!

わたしのママ

がんばりやさんに
なりたいな。

岩手県 北上市立立花小学校 一年

及川^{おいかわ}

華穂^{かほ}

わたしのママはがんばりやさん。

そんなママが大すき。

ママのおかあさんも

がんばりやさん

だったんだって。

わたしのからだのなかにも、

そのちからがあるって

ママがいった。

わたしのがんばりやさんは

おきているのかな。

ちからをだしているのかな。

はやくママみたいに

ぼくと手術とお母さん

岩手県 北上市立黒沢尻西小学校 五年 嶽間澤^{がくまざわ} 祈吹^{いぶき}

ぼくは手術をうけることはへっちゃらだ

なぜなら今までたくさん手術をうけてきたからだ

でもひさしぶりの手術

なんだかドキドキしてきた

不安で心臓があばれだしたんだ

そっと、お母さんと手をつないだ

そうしたら心がじんわり温かくなって、少し安心してきた。

手術室に入ってますいをする時もお母さんは

手をつないでくれた

お母さんの顔は不安そうだった

ぼくは親指をたてて「大丈夫」のサインを送った

手術が終わって目を覚ましたら、お母さんは優しい顔をしていた

「手術前の親指のサインかっこよかったよ」

とお母さんが言った

ぼくはお母さんと手をつないで安心して

お母さんはぼくの親指のサインで安心したんだ

ぼくの気持ちにはありがとうの気持ちでいっぱいになった

ぼく大きくなるよ

埼玉県 川口市立安行東小学校 一年 すずき 鈴木 しもん 紫文

ぼくは3がつうまれ

クラスで2ばんめに小さくて

まわりのともだちよりあたま1つぶん小さい

しょうがつこうにはいるまえは

いつもいちばん小さかった

ママは小さいぼくがしんぱいで

3がつうまれをきにしてる

ぼくは大きくなあれって

いっぱいごはんをたべて

ぎゅうにゅうもたくさんのんではいる

きゅうしよくものこさないように
がんばってたべている

きゅうしよくをたべおわるのがいちばん

かけっこもいちばん

大きなこえでごうれいがかりもやっている

大きな子にもまけないよ

だからだいじょうぶ

ママ、大きくなるからあんしんしてね

二ばんのじかん

岩手県 北上市立黒沢尻西小学校 二年 足立^{あだち} 琥珀^{こはく}

いつもは、なんでも一ばんがすきなぼく

でも、二ばんでいいときがある

それは、はみがきのしあげみがきのじかん

一ばんは、おとうとにゆずる

ぼくは、二ばん

ゆっくりままのひざの上で、大きな口をあけて、

はみがきをする

目があうと、につこりわらうまま

それを見ると、なんだかうれしくなつて

ぼくもわらう

このじかんが、大すき

二ばんのおかげで、虫ばは、ない

いつもは、一ばんが大すきだけど

二ばんでもいいじかんがある

大すきなままとのたいせつなじかん

ぼくは、ママが大すき

せかいで一ばん大すき

だって、ぼくのままだから

ネコのちよびたとお母さん

大阪府 創価学園関西創価小学校 二年 江守^{えもり} 陣^{じん}

ぼくの家にはネコのちよびたがいる。

ちよびたのお母さんをぼくは、知らない。

ちよびたが赤ちゃんの時、

川でおぼれているのをパパが見つけた。

バケツでたすけた。

だからパパもママもぼくも、

みーんなちよびたのお母さんを知らない。

ネコはお母さんネコに足をふみふみするらしい。

ちよびたは、それをぼくのママにする。

ぼくたちのごはんの時間は、ちよびたもごはんの時間。

ねる時は、あん心あんぜんでいびきをかいてねている。

トイレは目をとじて気もちよさそう。

ちよびたはぼくの家ぞく。

ちよびたのお母さんへ

こんなかんじでちよびたは元気にすごしているので

あん心してください。

こちよこちよまま

岩手県 北上市立黒沢尻西小学校 一年

高橋^{たかはし}

夢采^{ゆめと}

ぼくは、ままにこっそり

こちよこちよをする。

ままは、わらう。

こんどは、ままがぼくに

こちよこちよをする。

ばんざいをして、わきのした。

そして、くび。

こちよこちよされる。

おもしろくて、たのしいな。

だいすきなじかんだよ。

おかあさんとあるくと

岩手県 北上市立和賀西小学校

一年

阿部^{あべ}

愛加^{あい加}

あさ、はれていると

おかあさんといっしょに

がっこうに行く

おはなししながらいく

はなのなまえをおしえてくれる

いろんなはなのなまえをしっていて

すごいんだよ

よつばさがしもじょうずだよ

あるきながら みつけられる

よつばさがしのめいじん

あめのひは くるま

すぐつくから おはなしができない
おかあさんと

いっぱいおはなしができて

いっぱいいっしょにいられるから

おかあさんとあるく

はれのひがすき

ママ大すき

岩手県 北上市立江釣子小学校 一年 北條 咲良^{ほうじょう さら}

ママにだっこされたいのに

おとうとがいないているから

だっこしてくれなくて

わたしもないちゃった

そうしたらママが

「どうしたの。」

わたしのこともだっこしてくれた

そうしたらこんどは、おとうともないて

ママはふたりをだっこしてくれた

ああ、よかった

わたしもおとうとも、ママも、にこにこになった

そうしたらこんどはパパも、だっこしてっていい

ママもわたしも、おとうともパパも、みんな
おおわらい

わたしはママが大すき

おとうとも大すき

ママにそういたら

「みんな大すきだよ。」

っていつてくれた

「わたし、ママがおばあちゃんになっても

大すきだよ。」

っていったら

「ママも、そらにいつてもずっとみているよ。」

っていつてくれた

うれしくつてないちゃった

おとうとは

「ママ、あんぱんまんになって。」

だって

「なんでー。」

ママもわたしもおおわらい

ママ、大すきだよ

おとうとのにゅういん

佐賀県 佐賀大学教育学部附属小学校 一年 久米^{くめ} 凌太^{りょうた}

おとうとはもうすぐ2さい。

うまれてからなんかいものにゅういんしたね

そのたびにぼくはさびしくて

さびしくて

「ママがいい。」

と、なっていた。

「ママかえってきて。」と

ないてママをこまらせていた。

でもね

4かいめのにゅういんのとき

おなじようにさびしくて

ねむるときはママがいなくて

なきそうになったけど

ママのまえでなくのをがまんした

なきたかったけど

はずかしかったし

ママをしゃべいさせたくなかった

がんばってパパとすごしたよ

おとうとがげんきになってよかった

じてんしゃにのって

岩手県 北上市立三子小学校 二年

若井^{わか}

瑠莉^{るり}

おかあさんがペダルを、

ぐんぐんこいだ

わたしも

ペダルをこいだ

おかあさんはにこにこ

さつきまで

お日さまがガラガラして

あつかったのに今は夕方

じてんしゃにのっていると、

すずしい風がほっぺたに

あたってきもちいい

おかあさんが

「きもちよかったね。」

っていった

わたしも

「うん」

っていった

とてもたのしかったよおかあさん

ママみたいになりたい？

岩手県 北上市立南小学校 二年 赤坂^{あかさか} 大空^{ひろあ}

おとうとがようち園で

たなばたのねがいごとを書いてきた

ママみたいになりたい

買いものからかえってきたおかあさんに

おしえてあげた

おかあさんはわらった

そしてぼくはこう言った

「だからちいくん、いつもおこるんだね。」

おかあさんがギロツつとこつちを見た

いそいでぼくはこう言った

「おかあさんとちいくん、

顔もにてるもんね。」

そしておかあさんがまたわらった

すこしはなれたところ

おとうさんもわらった

だからぼくもいっしょにわらった

おかあさんのびょうき

岩手県 北上市立和賀西小学校 二年 照井^{てるい} さおり

おかあさんがびょうきでにゅういんして

いっしゅうかんあえなかった

コロナでめんかいてもできなかった

あえなくてさびしかった

おかあさんのことがしんぱいだった

いたくないかな

つらくないかなって

しんぱいだった

いよいよたいいんの日がきた
おかあさんのかおを

いっしゅうかんぶりに見たら
うれしくてなみだがこぼれた

ないたおかあさん

愛知県 西尾市立中畑小学校 二年

稲垣^{いながき}

大地^{だいち}

ぼくが生まれたとき

おかあさん

いっぱいいっぱい

ないたんだって

どうしておかあさんがないたのかなあ

赤ちゃんは

生まれたときに

オギャーって

なくけど

おかあさんも

オギャーって

ないたのかなあ

ぼくの心ぞうに

大きなびょうきがみつかったんだって

だからぼくは

すぐにしゅじゅつを

しなくちゃいけなかったんだって

おかあさん

ぼくが心ばいで

いっぱいいっぱい

ないちゃったんだね

おかあさん

だいじょうぶだよ

ぼく

元気だよ

ママをたすけてあげる

愛知県 西尾市立中畑小学校 二年 中西 なかにし 柚月 ゆづき

わたしにはいもうとがいる

ママはいつもいもうとのおせわでいそがしい
いもうととあそんであげたら

「たすかった。ありがとう。」

とママがいった

わたしはうれしくなった

だけどわたしも

ママといっしょにねたり

だっこをしてもらいたい

ときどきさみしいきもちになる

さみしくてないてたら

ママが

「ゆづちゃんが「ばんだすきよ。」

とギューっとしてくれる

そうしたらうれしくなつて

よくねむれます

ママとたくさんいっしょにいたいから

ママのおてつだいを

たくさんしてあげる

そしたらママに

たくさんギューしてもらうんだ

だからママをたすけてあげる

おかあさんの声

大阪府 創価学園関西創価小学校 二年 田代^{たしろ} 直樹^{なおき}

ぼくの一日はおかあさんの本の読みきかせでおわる。

おかあさんがようじをすませて本をひらくと、ぼくと妹と弟はあそんでいたおもちゃそっちのけでおかあさんのよこにかけよる。

2つしかないおかあさんのとなりはとくとうせきだ。

本をひらくとみんなでそのせかいにとびこめる。コロナでりよ行に行けなくても、海でも山でも外国でも大むかしやみらいにだつて行けてしまう。うつくしい白雪ひめも、おそろしいオオカミも、きょうりゅうもうちゅう人もその声はいつも聞い

ているおかあさんの声だ。

ぼくはその声を聞くとあんしんしてぐっすりねむれる。

おかあさんこれからも、いろんなせかいをたびし
ようね。

時にはぼくが読んであげるね。

お母さんのやくにたちたい

岩手県 北上市立黒沢尻北小学校 三年 みつ三井 こと琴未

お母さんは おりょうりがとくい

わたしの出番は ただ はしならべ

やさいを切ったり レンジをしたり

もつとお手つだいしたいのに

なん年生になったら

まかせてもらえるのかな

お母さんは せんたくをがんばっている

わたしの出番は とりこむだけ

台を使えば 高いところでもほせるのに

まだまだ

まかせてもらえない

お母さんは

おふろそうじはやらしてくれるけど

ずっと後ろで見てるから

しせんを感じて集中できない

一人でも

スイッチもせんぬきもできるのに

そろそろまかせてもらいたい

お母さんは はたらきもの

休み時間は夜だけで

まるで はたらきアリみたい

しんぱいしないで お母さん

まだ三年生だから なんでもかんでも

できるってわけじゃないけど

わたしが少しでも手つだえば

少し楽になるんじゃないのかなあ

横になったお母さん

岩手県 北上市立飯豊小学校 三年

佐藤 琉成

頭がいたい

リビングに横になったお母さん

夜ごはんを作ったあのことだった

今日はお父さんは仕事で帰ってこない

たいへんだ

家の中のことが止まった

ごちそうさまをしたあと

ぼくたちは動いた

お兄ちゃん、妹、そしてぼく

おさらをあらって、ふいて、かたづけ

「お米はなんごう？」

「3か4」

おてつだいしてたから米とき した

ピーッピーッ ピーッピーッ

せんたくが終わった

かごいっぱいおせんたく物

三人でていねいにほした

横になったお母さん、まだねてていいからね

電話のお母さん

岩手県 北上市立黒沢尻北小学校

四年

柏谷^{かしわや}

美優^{みゆう}

電話が鳴ってお母さんがでた。

そうしたら

いつもの声じゃない

顔が真けん

どうしたの。

会社の人から電話だよ

と小さい声。

お母さん最後におじぎした。

お母さん仕事がんばって。

お母さんがいること

岩手県 北上市立黒沢尻西小学校 四年

伊藤 蓮

ぼくがうまれたとき

お母さんはナミダをぽろぽろこぼしながら

たくさんたくさんよろこんでくれたんだよ

ぼくが初めてねがえりをうてたとき

ぼくが初めて歩けたとき

ぼくが初めて学校に行くとき

ぼくが初めて友達作ったとき

ぼくが初めて習い事に行くとき

ぼくの「初めて」のときには

お母さんはぜったいとなりにおいてくれて

まるで自分のことのように

いつもいつもよろこんでくれたんだよ

その度にお母さん大好きって思ったよ

お母さんもぼくみたいに

いやなこと できないこと きらいなこと

全部乗りこえてお母さんになれたんだよ

ぼくも

いやなこと できないこと きらいなこと

全部がんばれるんだよ

お母さんがいてくれるからね

十分だけ

岩手県 北上市立照岡小学校 四年

千田^{ちだ}

紗也栞^{さやか}

仕事から帰ると

「十分だけ」と言つて横になる

十分後起こすと

「十分だけ」と言つてまた横になる

毎日 毎日 「十分だけ」が続く

もつと もつと 十分が長ければいいな

お母さんは、お片付けマシーン

大阪府 創価学園関西創価小学校 四年 上嶋^{うえしま} 英志^{えいし}

お母さんの声かけレベル1

「床に物が落ちてるで。」

お母さんの声かけレベル2

「片付けやゝ。ふまれるで。」

お母さんの声かけレベル3

「いつ片付けるねん。いいかげんにしいや！」

お母さんの声かけレベル4

「何回言わせんねん！」

お母さんの声かけレベル5

「もう言うのつかれたわ！へトへトやゝ※」

お母さんのあきらめモード

「もうええ。お母さんが片づける。」

ぼくがちらかしていると、お母さんはなぜ、おこるのだろう。物はなんでもあたり前のようにそこにある。だけどその物を作った人、お店に運んでくれた人、ぼくのために買ってくれた人がいるから、使えている。物を大事にすることは、感謝する事だ。

これからは自分でキレイに片付けよう。物に感謝する気持ちを、教えてくれたお母さん、ありがとう。

わすれんぼう選手けん

大阪府 創価学園関西創価小学校 四年

武田^{たけだ}

佳代子^{かよこ}

「行ってきますー!」

一分もしないうちに同じ声で

「ただいまー!」

またはじまったママのわすれんぼう選手けん

「お帰り、早かったね」

といつも私はわらいながらこたえる

「えーっと、車のかぎをわすれたの。」

「あれ、どこに置いたかな」

「ここにあるよ」

「さすが、かよちゃん。名たんてい!」

いつもこんなふうにはめられる

私はちよつといい気分

つぎも私にまかせてね!

「あれ、スマホがない!」

今日も始まるママのわすれんぼう選手けん

さあ私の出番だ

ママがいつも置くところ

実はだいたいきまっているよ

「あつたー」

私の予想、的中だ

「やっぱりかよちゃん、すごいね!」

「ところで、何でわかったの?」

私は、ママから生まれた名たんてい

だからママのこと、何でもわかるよ!

ママはいつも家族のためにいそがしい

私やパパ、お姉ちゃんたちのお世話で

いつもあれこれ大いそがし

だから、自分のこと

うっかりしちゃうことだってあるよね

安心してね

私がいつでも

ママの名たんていになってあげるから！

私ね

「名たんてい」って言われるの

うれしいんだよ

ママがよろこんでくれて、うれしいんだよ

ぼくの机

岩手県 北上市立黒沢尻西小学校 五年 菅野^{かんの} 柊泉^{とうい}

ぼくの机は、いとこのカズ君が使っていた物で、ヒマさえあればママがすわっている。おばあちゃんが

「柊泉じゃなくてママが勉強しているじゃん」って言う位よくすわってる。

のぞいて見ると

学校からのプリント。

連絡帳。

宿題のチェック。

そして、スマホで韓国ドラマ。

やっぱりね…。

ぼくが少し長い時間勉強をしていると

「まだ勉強してるの？もういいんじゃない？私が柊泉と同じ位の時は、そんなに勉強しなかったよ！同じ場所で同じ机なのに…がんばるね。」とママ。

実は、この机、おじいちゃんとおばあちゃんがママのために買った机だと知りました。

だからなつかしくて、すわっているのか。

少しおどろいて、

少し不思議で、

ちよつとうれしくて、

もっと勉強してやる！って言う気持ちになった。

ぼくが大人になったら、この机の思い出を、たくさん話そうよ。

手紙

岩手県 北上市立立花小学校

五年

鈴木^{すずき}

晴^{はる}

母のたん生日に手紙をわたした。

よろこんでくれるかな。

いろいろ考えながら書いた。

母の

笑顔を考えた。

母の

よろこぶ声を考えた。

考えていたら、

自分もわくわくしていることに気がついた。

母をよろこばせるつもりが、

自分もうれしくなっていた。

ぼくの気持ち伝わったかな。

何回でも言うよ。

お母さん、いつもありがとう。

お母ちゃんへのプレゼント

岩手県 北上市立黒沢尻東小学校 六年 松村 まつむら 永吉 えいきち

「今日、産まれるかも」と言った

お母ちゃんは大きいお腹で

「産む前にラーメンが食べたい」と言った

ラーメンを食べながら

お腹が痛くなる時間をメモした

「おいしい」

「痛い」

「おいしい」

「痛い」

そして、病院でぼくのうでをつかんで

「痛い、痛い」

分娩室から

「痛い、痛い、痛い」と聞こえた

「ギャー」と妹の声

ついさっきまで三人でラーメンを食べたのに

今はもう四人家族

お母ちゃんはすごい

お母ちゃんは強い

お母ちゃんは

誕生日のプレゼントも

母の日のプレゼントも

いないから

お母さんの詩をプレゼントしてほしいと

小学校六年、卒業前にプレゼント

オリンピック

岩手県 北上市立飯豊小学校 六年 佐々木 蓮弥

一九六四年以来 東京でオリンピックが開き
れた

一番楽しみにしていたのは お母さんだ

テレビの前にすわり 大きな声でおうえんする

ぼくは 興味がないから 見ない

「会場に行つて 見てみたかったなあ」

といつもテレビの前で 言っている

そんなことより 早くご飯を作ってくれないか

なあと ぼくは 思っているけど

スケートボードで金メダルをとった人がいると

「お母さんも やつてみようかなあ」

「お母さんにも できるかなあ」

と聞いてくる

「お母さんは 仕事もあるし 受験生のお兄ち

ゃんもいるし ぼくもいるし お父さんもいるし

難しいと思うよ」

と言うと

「だよね…」

「でも お母さんくらいの年の人でも がんばっ

ているんだよね すごいなあ」

そうなんだ とぼくは おどろいた

でも ぼくは思う

毎日 仕事に行つて 洗たくをして ご飯を作

つて 宿題を見ってくれる お母さんもすごいと思う

今度は 野球でお父さんと一緒に 大きな声で

おうえんしている

ぼくも 一緒になつて おうえんしてみる

おかあさんってうるさい

岩手県 北上市立飯豊小学校 六年 高橋^{たかはし}陽^{はる}

どんな詩をかこうかなって

おかあさんに相談したら

「おかあさんに対して思うことを書いたらいいよ」

って言われて考えてみた。

おかあさんっていちいちうるさい

「宿題はやったの？」

「忘れものはない？」

分かってるよ

うるさいなあ

今やろうとしてたのに

やる前に言われるとむかついてくる

でもそのむかつきを顔に出すと

よけいうるさく言われるから

ここはおれが大人になって

すずしい顔して言ってる

「宿題はおわった」

「忘れものはない」

今度はうるさくほめられる

「すごいじゃん」

「ちゃんと一人でやれるんだね」

「えらいね」

ほめられる時はちょっとうるさくてもいいかな

ちょっとだけだけ

この詩を読んだらまたうるさいんだろうな

合言葉

岩手県 北上市立江釣子小学校 六年 小原 おぼら 紫鈴 しりん

「いつでも全力！」

これが合言葉

学校に行く前も

「いつてらっしゃい、いつでもしりんは全力！」
と、言ってくれる

水泳の大会でも、手のひらに油性ペンで、

「いつでも全力！」

と、大きく書く

大会でタイムが出ず、ガッカリしていると

「全力でがんばれたの？」

「うん。」

「じゃあすごい！次の大会に向けて全力」

いつも言ってくれる合言葉は

最高だ。

母ちゃんとぼく

神奈川県 川崎市立東菅小学校 六年

木村^{きむら} 守^{まもる}

せんたくをたたむお母ちゃん

ポツリ、つぶやいた。

また、かたつぽないな。

いつも、いなくなる、くつ下

ふしぎな顔でみつめてる。

ぼくの家「くつ下ひなんボックス」

かたつぽになったくつ下が

さびしそうに入ってる。

母ちゃんは、さがさない。

そのうちみつかるよ。と

ポイツとくつ下ひなんボックスへ投げる。

母ちゃんは気にしない。

イライラしちゃうから

怒ってる時間がもったいない。

働く女はいそがしいのよって

「相棒」ばかり見てるくせに。

みつけたら、自分で取りに行く

うちのルール、ザックリだ。

ズボンはいたら、

足と一緒にできたくつ下

ヤバイ、怒られる。

ぼく、やっちゃったかな

でも、大丈夫。

くつ下ひなんボックスから

自分で取って、しらんぷり

母ちゃんは気にしない。

ペルテスが治って自由になったぼくは

じいちゃんとサイクリング

ばあちゃんとお茶会

父ちゃんとお風呂

兄ちゃんとケンカ

そして、イヤイヤのじゆく

働く女の母ちゃんよりいそがしいんだ。

母ちゃんに怒られてるヒマはない。

楽しさいっぱい、夢いっぱい。

一人で、もう、大丈夫。

母ちゃん、おつかれさま。

ママとコロナワクチン

広島県 福山市立駅家小学校 六年 中嶋^{なかじま} 晃太郎^{こうたろう}

一回目のワクチンの時

ママが無事でよかった

どうもなくてよかった

オレずっと心配しとった

電車の写真とつとる時も

蒼太と遊んどる時も

ママがおらんくなったらどうしようと思つて

二回目のワクチンの後

ママに

熱が出た

熱出てまだ一日目？

もう一週間はたった気がした

三日後

ママが元気になった

しほんどった風船に

空気がたまつて

オレの気持をのせて

空に上がっていった

ママに感謝

長崎県 佐世保市立花高小学校 六年 山口 翼やまぐち つばさ

ぼくは、少しだけみんなとちがった形の手と足で
生まれた

ママや先生に助けてもらいながら生活してる
でもほとんど自分でできる

自分で言うのもなんだけどけっこう器用かも
しかし、ほぼぼくを見て多くの人はビックリする
だから学校に行くのもくつうになる

ある日、ぼくは

動物は学校行かなくていいからいいなあーと

一人ごと言ってた

そしたらママがこっそりきいてばくしようしてた
動物に生まれてたらママに会えてないようと

ママが言う

あーそれもそうやなと思った

ぼくのバカな考えやった

本当にこの世に生まれてきてよかった

ママにぼくは感謝

ぼくは6年生になった

もうすぐ卒業だな

でもママは、ぼくの世話を卒業はできない

ママずっとよろしくおねがいします

お母さんとの距離

千葉県 我孫子市立我孫子中学校 一年 ねもと根本 こうた航汰

生まれた時の僕は

身長約五十センチメートル

まだ歩くことはできない。

お母さんに抱っこされている。

お母さんとの距離は

約百センチメートルだ。

歩けるようになった僕は

身長約八十センチメートル

お母さんはまだまだ見上げる距離だ。

小学校に入学した僕は

身長約百二十センチメートル

だいぶ大きくなってきた。

お母さんに近づいてきた。

中学校に入学した僕は

身長約百五十センチメートル

お母さんとはほぼ同じ目線だ。

高校に入学した僕は

きっとお母さんを抜かしているだろう。

そしてお母さんとの距離が

また離れていくだろう。

お母さんがおばあさんになったら

今度は僕がお母さんをおんぶする番だ。

お母さんと僕の距離は

近づいたり離れたりしながら進んでいく。

応援してくれる母さん

岩手県 北上市立和賀東中学校 二年 アブドラマン・アシユラフ

エジプトにいた時、兵士になりたかった

僕のおじいさんもおじさんも兵士だった

二人ともアラブ諸国を守る人だった

この二人を見てすごいと思ったからだ

僕は、生まれた時、骨が弱くて

カルシウムが足りなかった

僕の夢をかなえるために

お母さんがカルシウムが多い食べものを作ってくれた

始めは魚の料理

でも僕は、匂いや骨が苦手で食べられなかった

その僕のために

牛乳よりもカルシウムがある

バツファローの乳を買ってきてくれた

とても重くて大変だったと思う

そのおかげで、僕の体は強くなった

日本に来て

通訳に興味が生まれた

今度は英語を話す機会を作ってくれた

アメリカやマレーシアの人と

話す機会をたくさん作ってくれた

だいぶ発音がよくなった

今は、日本語を勉強中

変わらず応援をしてくれるお母さん

お母さんに教わってフランス語の勉強も始めた

未来に進む道を作ってくれたお母さん

いつも俺のために一生懸命なお母さん

「ありがとう」

カラスのおかあさん

宮城県 石巻市立河南東中学校 二年 後藤 恭平
ごとう きょうへい

「カーカーカー」

夏の夕暮れいつもカラスのおかあさんが子供を
呼んでいる

家のとなりの変電所は電線が張り巡らされている。
夕方になればカラスの待ち合わせ場所
空いっぱい広がるカラスの集団

どんな関係なのだろう

一羽のガラスのお母さんが点呼をとる
家族と会えたかな

僕は毎日、サッカーしながら

カラスのおかあさんを見る。カラスたちを見る。

家からおかあさんが僕をよんでいる。

僕も家へ帰ろう

わたしたちのカタチ

宮城県 仙台市立袋原中学校 二年 菅原 すがわら 叶実 かなみ

親子でも

互いの全ては理解できない

互いに大切なものがあり

互いに譲れないこだわりがある

母親だからこうすべき

娘だからこうしなきゃダメだと

完璧な親子になろうと頑張れば頑張るほど

互いの心は悲鳴を上げて離れるだろう

親子でも

互いに自分らしくあればいいじゃない

互いに感情的になってもいいじゃない

だって親子のカタチに正解はない

わたしの母親はあなただけ

あなたの娘はわたしだけ

互いに支えあっている

互いに想い合っている

わたしたちのカタチはわたしたちが作る

だって

わたしたちは

幸せな親子だと自信があるから

たまごうどん

群馬県 榛名女子学園 H・A

お母さんの味といえば

たまごうどん

たった50円でつくれる

めんつゆの味

幼い頃から慣れ親しんだ

たまごうどん

風邪の日も お金が無い日も

夕ご飯はそれだった

今では自分でつくる

たまごうどん

苦しい時も つらい時も

お母さんの味があれば

乗り越えられる

お母さんがかけてくれた魔法はすごい

安いはずなのに

価値はずっと高い

たまごうどん